



資源物を出すときの注意

缶類、ビン類、紙類の日の共通事項

- 袋から出して、指定のかごに入れてください。



- 缶やビンは、中身を空にして軽くすすぐなど、内容物が残らないようにしてください。

特に缶詰などは、内容物が残りやすいので注意してください。

- 必ず朝8時までに出してください。

ポイント 資源物の収集は、同じ集積所を数回収集に回ります。

例（缶類の日）

- アルミ缶を1号車で収集します。
- スチール缶を2号車で収集します。
- ペットボトルを3号車で収集します。
- 白色トレー、その他のプラスチックを4号車で収集します。



※収集作業は1日かかります。

1回の収集で、すべての品目は収集できません。
1度収集したものは、2回目以降は収集しません。



缶類の日の注意点

- リサイクルマークを確認して、分別してください。
- ペットボトルは、キャップとラベルを取ってください。
- その他プラスチックで出せるカップラーメンの容器には、紙製の容器がありますので、リサイクルマークを確認してください。



ビン類の日の注意点

- 一升ビンは「酒ビン」に限ります。「酒ビン」以外は色分けして出してください。
- 一升ビン、ビールビンは、欠けていないものに限ります。
- ビンに貼られているシールは、剥がさないでください。
- 色(透明、茶色、ほかの色)の分別を徹底してください。



紙類の日の注意点

- 片手で持てる程度にひもで縛りましょう。
- 禁忌品に注意してください。

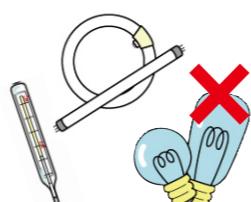
再商品化できなくなりますので、「可燃ごみ」に出してください。



- レシートなどの感熱紙、宅配便の伝票などのカーボン紙 洗剤、線香の箱など臭いがついている紙 写真(印画紙、インクジェット紙で印刷したものも含む) 水や油を吸った紙、使ったタオルペーパーなど、汚れた紙

有害ごみの注意点

- 蛍光灯は割れていないものです。白熱電球、LED電球、割れてしまった蛍光灯は、不燃ごみに出してください。
- 水銀を使用した体温計も有害ごみです。



ごみを出すときの注意

- 可燃、不燃、粗大ごみ、資源物などの分別をしてください。

- 生ごみは水分をしつかり切って出してください。



ポイント

生ごみの水分を切るだけで、可燃ごみの約10%が削減できる結果も出ています。水分を切ることにより、経費削減、悪臭防止、集積所の衛生管理など、多くの効果があります。

- ごみ袋は、透明または半透明の物を使用し、口をしつかり縛ってください。

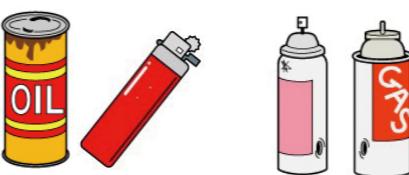


- プラスチック類は可燃ごみに出してください。



CD(ケース含む)、ビデオテープ、シャンプーボトルなどのプラスチック製容器

- 可燃性の高いガス燃料、スプレー缶、ライターなどは、ほかの不燃ごみと分けてわかるようにして出してください。

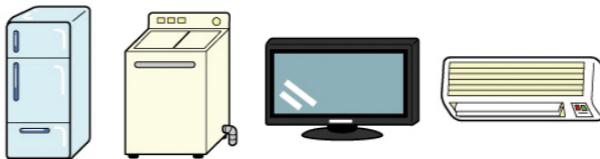


使い切って出す。 使い切って、穴を空けて出す。 ほかの不燃ごみと分けて出す。



これらが原因と思われる
ごみ収集車両の火災が
毎年のように発生しています。

- 家電リサイクル法やPCリサイクル法対象品目は、制度に基づきリサイクルしてください。



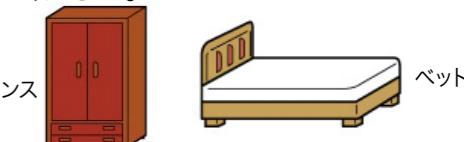
冷蔵庫、冷凍庫、テレビ、洗濯機、衣類乾燥機、エアコンは、購入店が引き取り協力店に。



パソコンメーカーに直接問合せください。
不明な場合は、下記に問合せください。

(一社)パソコン3R推進協会 03-5282-7685

- 収集困難物は直接環境センターに搬入し、適正処理困難物は直接専門業者に依頼してください。



収集困難物



適正処理困難物(環境センター不可)